

ふらの市移住促進協議会 平成21年度活動報告書

富良野への移住を促進する取り組みについて



平成22年6月
ふらの市移住促進協議会

目 次

■平成21年度事業計画の概要	2
■組織の概要	3
■平成21年度事業実績	
○移住促進に係る周知活動の実施	
（1）首都圏等プロモーション活動の実施	6
（2）移住パンフレットやポスターの作成・配布	9
（3）ホームページ企画立案・運営管理	10
（4）移住協通信の発行	10
○移住促進に係る各種事業の推進	
（1）富良野市役所企画振興課内に移住相談ワンストップ窓口設置	11
（2）ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施	12
（3）移住体験モニターツアーへの協力	13
○各種会議開催状況	
（1）ふらの市移住促進協議会設立総会の開催	14
（2）幹事会の開催	14
（3）移住促進作業チーム	15
■移住実績	16
■参考資料	
○新聞記事	17
○移住協通信	26

平成21年度事業計画の概要

移住促進に係る周知活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

首都圏等で開催されるイベントに積極的に参加し、富良野市への移住促進に向けた移住相談等を実施する。

◇北海道暮らしフェア in 大阪

◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト

(2) 移住パンフレットやポスターの作成・配布

ふらの市移住促進協議会パンフレット（A4三つ折 5,000部）

ポスター（A3 4種類）作成（各100枚）

(3) ホームページ企画立案・運営管理

(4) 移住協通信の発行

協議会の取り組みを紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開

移住促進に係る各種活動の推進

(1) 富良野市役所企画振興課内に移住相談ワンストップ窓口の設置

◇生活利便現地案内サービスの実施

(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

◇市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

(3) 移住体験モニターツアーへの協力

富良野広域圏経済活性化協議会が主催の「移住体験モニターツアー」オリエンテーションに参加し、ツアー参加者と意見交換を行う。

各種会議開催状況

(1) 会議の開催

①総会の開催

②幹事会の開催

③移住促進作業チームの開催

(2) 関係団体との連絡調整

北海道移住促進協議会、「住んでみたい北海道」推進会議

組織の概要

- 名 称 ふらの市移住促進協議会
- 代表者 富良野市長 能 登 芳 昭
- 設 立 平成21年5月21日
- 事務局 〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
富良野市総務部企画振興課内
電話 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121
- 目 的 富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促をすることにより、地域振興を図ることを目的とする。
- 協議会会員

構成団体

富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会
富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区

賛同事業所

(株)アーキスト	鶴 Apartment	(有)フラワープティック エハラ
旭川信用金庫 富良野支店	てっぱん・お好み焼き まさ屋	(株)プリンスホテル 新富良野プリンスホテル
(株)亀屋斉藤商店	(株)那知組	ペンション ピノキオ
(株)軽米組	西出装飾	(株)北菱
(株)菊田建設	(株)ニュー富良野ホテル	北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールヴァルト富良野
北の宿 望峰	富良野インターネット ビジネススクール	(株)ゆあさ
(株)コダマ	(株)富良野タクシー	(株)吉田塗装店
(株)佐藤建業	富良野地方卸売市場(株)	
(株)扇商連 (サンエービルド工業)	富良野ホテル・ベルヒルズ	

(50音順)

■ふらの市移住促進協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、ふらの市移住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会の主な事業は、次のとおりとする。

- (1) 移住促進に係るPR活動の実施
- (2) 移住促進に係る各種事業の推進
- (3) その他 移住促進のために必要な取組

(組 織)

第4条 協議会は、富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区、及び協議会の趣旨に賛同する各団体の構成員をもって組織する。

(役員及び職務)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 4 名
- (4) 監 事 1 名

2 役員は、協議会において選任する。

3 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 理事は、協議会の主要事項の審議並びに会務の運営にあたる。

7 監事は、会計を監査する。

(会 議)

第6条 協議会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、開催する。

(会 計)

第7条 協議会の経費は、会費、その他収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。ただし、設立年度については、施行日から翌年の3月31日までとする。

(幹事会)

第8条 協議会の事業が円滑に運営できるように企画立案し、関係団体実務担当者相互の連携協調を図ることを目的として幹事会を置く。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、富良野市役所総務部企画振興課に置く。

(委任)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成21年5月21日から施行する。

【役員】

(任期：平成21年度～平成22年度)

職 名		構 成 団 体
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	浅 田 正 俊	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	村 山 友 希	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	黒 岩 岳 雄	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

移住促進に係る周知活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

○もうひとつのふるさと探し in 大阪・北海道暮らし広場 in 東京ビックサイトへの参加

■目的

子育て世代・団塊世代等に広がりを見せる「第二の故郷探し」の胎動を踏まえ、北海道への移住・交流を促進するため、首都圏において富良野市ならではの魅力と「お試し暮らし」をはじめとした、富良野市へ移住に関する情報等を、積極的にアピールするフェアに参加し、富良野市の生活・暮らしを身近に知ってもらい、交流・定住人口の増加を通じた地域活性化を目指す。

■主催

◇もうひとつのふるさと探し in 大阪実行委員会

(北海道・鳥取県・島根県・山口県・「とくしま」ふるさと回帰推進協議会・香川県・えひめ移住交流推進協議会・高知県・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議)

◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト

北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

■開催日時

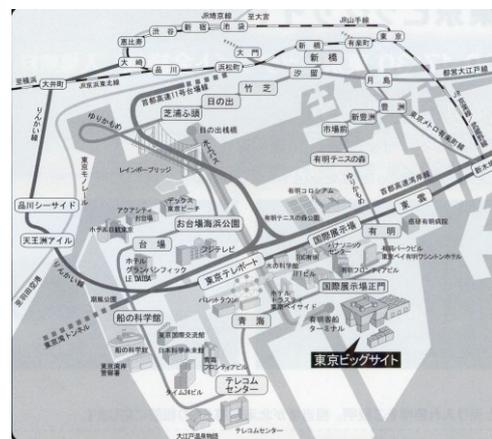
◇もうひとつのふるさと探し in 大阪：平成21年10月17日(土) 10:00~17:00

◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト：平成21年11月7日(土) 10:00~17:00

■会場

もうひとつのふるさと探し in 大阪会場

北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト



■入場者数

◇もうひとつのふるさと探し in 大阪

1,700人(富良野ブース来場者38人)

◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト

1,500人(富良野ブース来場者30人)

■会場の様子

◇もうひとつのふるさと探しin 大阪



◇北海道暮らし広場in 東京ビックサイト



■アンケート集計結果

◇もうひとつのふるさと探し in 大阪

Q1 あなたは富良野市をご存知でしたか？

1. 知っていた	34	100.0%
2. 知らなかった	0	0.0%

Q2 富良野市についてどのような印象をお持ちですか？

1. 農業のまち	9	13.8%
2. 観光のまち	25	38.5%
3. 自然豊かなまち	20	30.8%
4. 田舎まち	1	1.5%
5. 何も無いまち	0	0.0%
6. 賑やかなまち	1	1.5%
7. さびしいまち	0	0.0%
8. つまらないまち	0	0.0%
9. 環境が良いまち	4	6.2%
10. 自然環境が厳しいまち	5	7.7%
11. わからない	0	0.0%

Q3 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になり

1. なる	22	64.7%
2. ならない	1	2.9%
3. 何とも言えない(わからない)	11	32.4%

Q6 北海道に移住するとしたら、そのような点を最優先しますか？

1. 日常生活に不便が無いこと	最優先にしたい	10	29.4%
	優先的に考えたい	13	38.2%
	こだわらない	5	14.7%
	無回答	6	17.6%
2. 自然が豊かであること	最優先にしたい	11	32.4%
	優先的に考えたい	18	52.9%
	こだわらない	1	2.9%
	無回答	4	11.8%
3. 仕事があること	最優先にしたい	5	14.7%
	優先的に考えたい	9	26.5%
	こだわらない	11	32.4%
	無回答	9	26.5%
4. 移住者への支援制度があること	最優先にしたい	11	32.4%
	優先的に考えたい	11	32.4%
	こだわらない	5	14.7%
	無回答	7	20.6%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先にしたい	11	32.4%
	優先的に考えたい	12	35.3%
	こだわらない	6	17.6%
	無回答	5	14.7%

◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト

Q1 あなたは富良野市をご存知でしたか？

1. 知っていた	20	100.0%
2. 知らなかった	0	0.0%

Q2 富良野市についてどのような印象をお持ちですか？

1. 農業のまち	8	16.7%
2. 観光のまち	14	29.2%
3. 自然豊かなまち	17	35.4%
4. 田舎まち	0	0.0%
5. 何も無いまち	0	0.0%
6. 賑やかなまち	1	2.1%
7. さびしいまち	0	0.0%
8. つまらないまち	0	0.0%
9. 環境が良いまち	8	16.7%
10. 自然環境が厳しいまち	0	0.0%
11. わからない	0	0.0%

Q3 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になり

1. なる	17	85.0%
2. ならない	0	0.0%
3. 何とも言えない(わからない)	3	15.0%

Q6 北海道に移住するとしたら、そのような点を最優先しますか？

1. 日常生活に不便が無いこと	最優先にしたい	4	20.0%
	優先的に考えたい	11	55.0%
	こだわらない	2	10.0%
	無回答	3	15.0%
2. 自然が豊かであること	最優先にしたい	11	55.0%
	優先的に考えたい	6	30.0%
	こだわらない	1	5.0%
	無回答	2	10.0%
3. 仕事があること	最優先にしたい	5	25.0%
	優先的に考えたい	3	15.0%
	こだわらない	9	45.0%
	無回答	3	15.0%
4. 移住者への支援制度があること	最優先にしたい	3	15.0%
	優先的に考えたい	9	45.0%
	こだわらない	4	20.0%
	無回答	4	20.0%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先にしたい	4	20.0%
	優先的に考えたい	11	55.0%
	こだわらない	1	5.0%
	無回答	4	20.0%

■広告媒体

北海道、中国・四国で暮らしてみませんか？

自然に生まれ暮らしたリズムもゆったり流れる北海道、中国、そして西国で新しい暮らしをはじめませんか？
 「移住はちょっと…」という方のためにも、「生活体験ツアー」や「週末居住」「ロングステイ」「ちょっと移住し」
 などの様々なライフスタイルもご案内しているためぜひご来場ください！

さあ、第二のふるさと発見！

32の市町村や多岐の団体・企業が参加！

移住・交流推進イベント

もうひとつのふるさと探しフェア

9県の関連自治体や多岐の団体・企業が参加！

日時 10/17 (土) 10:00▶17:00

会場 梅田スカイビル(大阪市北区大淀中1丁目1-88) ※メイン会場 10F アラカホリ・セミナー会場(2F A-1)の大会場

入場無料

会場者大抽選会!

アンケート・プレゼントコーナー
アンケートを答えていただいた方に抽選でプレゼントが当たります。

●相談コーナー(自治体・団体)
移住したい自治体や団体、移住したい企業などそれぞれの移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●企業コーナー
企業間の移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●地産地消セミナー
移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●協賛企業コーナー
北海道の企業や団体、移住したい企業など移住に関する相談も受け付けています。

海外ロングステイ・国内デュアルライフフェア2009

北海道暮らし広場

in 東京ビックサイト

2009年11月7日(土) 10:00-17:30 東京ビックサイト会場棟 入場無料

札幌暮らし北海道!

長年北海道暮らしの経験から、移住に関する情報を提供します。
 理想の移住先を探そう。さあ、第二のふるさと発見!

●移住体験コーナー【35市町村】
移住したい自治体や団体、移住したい企業などそれぞれの移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●企業・団体コーナー
企業間の移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●ちょっと移住コーナー
移住体験ツアーや移住に関する相談も受け付けています。

●くらしから北海道ファンクラブコーナー
北海道の企業や団体、移住したい企業など移住に関する相談も受け付けています。

北海道ファンクラブ【くらしから】会員限定企業商品プレゼント!

【くらしから】に会員登録の方には、企業限定商品が当たるチャンスです。
 人気「まりもっこりストラップ」を先着150名様にプレゼント!

ご来場プレゼント(先着300名様)
 ご来場のうえアンケートにご協力いただいた方に
 先着300名様に北海道セットプレゼント!

(2) 移住パンフレットやポスターの作成・配布

■ 富らの市移住促進協議会パンフレット（A4三つ折） 5,000部

富良野で暮らすために
 賃貸住宅や自宅での生活に必要な情報が、求人情報に
 ついては、ホームページに掲載されています。
 富らの市移住促進協議会ホームページ
<http://www.furano.jp/>
 E-mail: info@furano.jp

ご相談・お問い合わせ
 富良野市役所生活福祉課生活福祉係生活福祉係長
移住相談デスク受付窓口まで
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

富良野市ホームページ <http://www.city.furano.hokkaido.jp/>
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

富らの市移住促進協議会
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野で暮らすために
 賃貸住宅や自宅での生活に必要な情報が、求人情報に
 ついては、ホームページに掲載されています。
 富らの市移住促進協議会ホームページ
<http://www.furano.jp/>
 E-mail: info@furano.jp

ご相談・お問い合わせ
 富良野市役所生活福祉課生活福祉係生活福祉係長
移住相談デスク受付窓口まで
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

富良野市ホームページ <http://www.city.furano.hokkaido.jp/>
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

富らの市移住促進協議会
 〒076-8554 富良野市役所生活福祉係1番目
 TEL 0167-39-2304 FAX 0167-39-2321
 E-mail: info@furano.jp

■ 富らの市移住促進協議会ポスター（A3） 各100枚

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野で暮らしてみませんか？

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。富良野市は、自然豊かな環境と、生活しやすい環境が魅力です。

(3) ホームページ企画立案・運営管理

■ホームページ (<http://www.iju.furano.jp>)



ホームページトップ画面

◇アクセス件数
平成21年8月
～平成22年3月
約 35,000 アクセス
月平均約 4,300 アクセス

■ブログ (<http://ameblo.jp/furano-ijusokushin/>)



ブログトップ画面

◇アクセス件数
平成21年9月
～平成22年3月
約 36,000 アクセス
月平均約 5,200 アクセス

(4) 移住協通信の発行

協議会の取り組みの紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開。

- ◇第1号 (2009.12.16)
- ◇第2号 (2009.12.21)
- ◇第3号 (2010. 1.13)
- ◇第4号 (2010. 2.10)
- ◇第5号 (2010. 2.18)
- ◇第6号 (2010. 3. 2)



移住促進に係る各種事業の推進

(1) 富良野市役所企画振興課内に移住相談ワンストップ窓口設置

■平成21年度移住相談件数 150件

移住相談集計結果

期間：2009/4/1～2010/3/31

■全集計

総数	150
----	-----

1. 年齢	20～40代	51	34.0%
	50代	18	12.0%
	60代以上	31	20.7%
	不明	50	33.3%

2. 居住地	大区分	道内	44	29.3%
		道外	94	62.7%
		不明	12	8.0%
	地域	道内	44	29.3%
		東北	1	0.7%
		関東	42	28.0%
		信越北陸	3	2.0%
		東海	15	10.0%
		近畿	24	16.0%
		中国	6	4.0%
		四国	1	0.7%
		九州沖縄	2	1.3%
		国外	1	0.7%
		不明	11	7.3%

3. 構成	単身	39	26.0%
	夫婦	37	24.7%
	親子	16	10.7%
	複数世帯		
	不明	58	38.7%

4. 希望地	市街	38	25.3%
	市街周辺	5	3.3%
	郊外	17	11.3%
	不明	90	60.0%

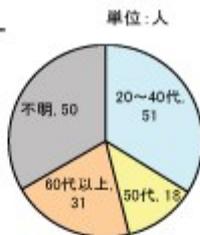
5. 希望形態	一般	32	21.3%
	自営	4	2.7%
	農的	7	4.7%
	自然志向	5	3.3%
	不明	102	68.0%

6. 相談内容	仕事	25	16.7%
	住居	85	56.7%
	土地	14	9.3%
	生活	17	11.3%
	その他	26	17.3%

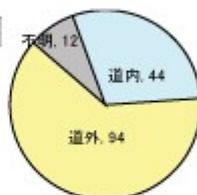
※相談時期	4～6月	39	26.0%
	7～9月	38	25.3%
	10～12月	38	25.3%
	1～3月	35	23.3%

移住者数	完全移住	7組	13人
	二地域移住	1組	2人
	お試し暮らし	8組	10人

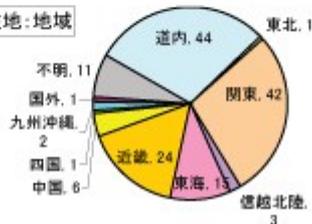
1. 年齢



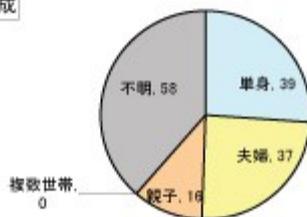
2-1. 居住地(大区分)



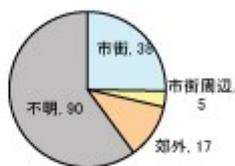
2-2. 居住地: 地域



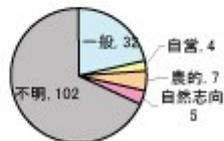
3. 構成



4. 希望地



5. 希望形態



6. 相談内容



H17 H18 H19 H20

総数	21	50	67	123
----	----	----	----	-----

20～40代	12	26	31	70
50代	3	8	9	15
60代以上	2	4	9	17
不明	4	12	17	20

道内	7	14	30	53
道外	13	33	35	57
不明	1	3	2	10
道内	7	14	30	53
東北			3	2
関東	6	20	14	27
信越北陸	1	1	1	1
東海		2	4	4
近畿	3	6	5	11
中国		1	1	3
四国	1	3	1	
九州沖縄	2		3	6
国外				
不明	1	3	5	13

単身	2	8	13	34
夫婦	5	12	15	27
親子	3	15	9	18
複数世帯	1		1	
不明	10	15	26	42

市街	16	25	40	70
市街周辺		6	8	10
郊外	4	4	14	21
不明	1	15	5	22

一般	19	30	46	71
自営	2	5	12	6
農的		6	2	4
自然志向		1		12
不明		8	7	30

仕事	9	18	8	23
住居	15	35	40	87
土地	2	7	7	13
生活	7	10	6	20
その他		22	21	28

4～6月	1	16	9	20
7～9月	6	14	14	31
10～12月	6	10	22	24
1～3月	8	10	22	48

完全移住		3組	5組	6組
		9人	10人	13人
二地域移住				
お試し暮らし	-	-	-	-

(2) からの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

■市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

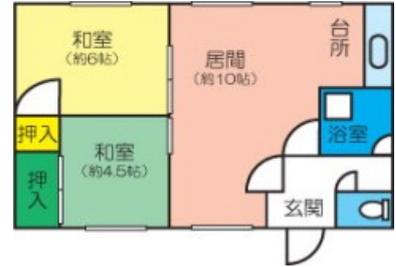
◇弥生住宅



外観



内装



間取り

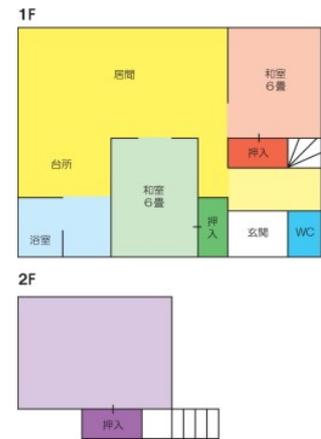
◇東山住宅



外観



内装



間取り

◇平成21年度の利用状況

弥生住宅（4組5名）		東山住宅（4組5名）	
愛知県	60代単身女性	東京都	70代夫婦
大阪府	80代夫婦	山口県	30代単身女性
大阪府	60代単身女性	神奈川県	30代単身男性
広島県	30代単身男性	兵庫県	60代単身男性

平成21年度お試し暮らし住宅利用者のうち、完全移住者は2組2名

■民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇(株)北菱物件「アパルC」を公表



外観



内装（LDK）



間取り

(3) 移住体験モニターツアーへの協力

富良野広域圏経済活性化協議会が主催の「移住体験モニターツアー」オリエンテーションに参加し、ツアー参加者と意見交換を行う。また、市内施設見学バスツアーを行い市内の生活に必要な施設（病院、スーパー等）や観光施設の見学を行う。

◇開催期間 平成22年3月8～14日（6泊7日）

◇ツアー参加者

世帯構成	住所
40代男性、40代女性	北海道札幌市
30代男性、30代女性	千葉県銚子市
60代男性、40代女性	北海道稚内市
50代男性、30代女性	北海道北見市
50代単身女性	北海道札幌市
30代単身女性	東京都杉並区

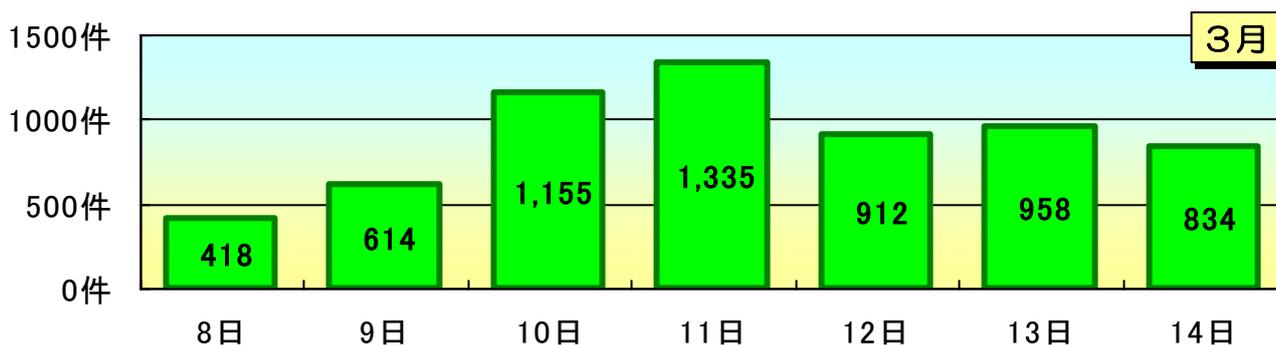
◇オリエンテーションの様子



◇市内施設見学バスツアーの様子



◇移住体験モニターツアーブログのアクセス件数



(1) ふらの市移住促進協議会設立総会の開催

■ ふらの市移住促進協議会設立総会

開催日 平成21年5月21日

場所 富良野市保健センター2階会議室

- 議事 ①ふらの市移住促進協議会規約（案）の制定について
②役員を選出について
③平成21年度事業計画（案）について
④平成21年度予算（案）について



(2) 幹事会の開催

■ 第1回幹事会

開催日 平成21年7月21日

- 報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について
②平成21年4月～6月までの移住相談状況について

- 協議事項 ①協議会ホームページの構成について
②協議会パンフレットの内容について
③協議会負担金の納入について
④プロモーション活動について

- ・10/17 もうひとつのふるさと探しin 大阪（梅田ビル）
- ・11/ 7 北海道暮らし広場in 東京（東京ビックサイト）

■ 第2回幹事会

開催日 平成21年10月13日

- 報告事項 ①お試し暮らしの入居状況について
②新規会員の紹介について

- ・株式会社ニセコマネジメントサービスフラノコネクション

- ③協議会パンフレットとポスターの配布

- 協議事項 ①プロモーション活動について

- ・開催日程の確認
- ・会員参加の取扱について

- ②今後の移住促進の課題

- ・平成21年7月～9月までの移住相談状況

■ 第3回幹事会

開催日 平成21年12月11日

- 報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について
②平成21年10月～11月までの移住相談状況
③移住状況について
④大阪・東京へのプロモーション活動について

- ⑤ふらの市移住促進協議会のブログの掲載について
- ⑥富良野市議会総務文教委員会における移住促進に関する事務調査について
- ⑦富良野広域圏経済活性化協議会による移住体験モニターツアーの開催について
- 確認事項 ①ふらの市移住促進協議会会員への情報提供について
 - ・協議会通信の定期発行について
- ②民間によるお試し暮らし住宅の提供について
 - ・会員が提供する「お試し暮らし住宅」のホームページへの掲載について
 - ・富良野市リサイクルセンターに対し家具等の提供協力依頼について
- 協議事項 ①移住促進作業チームの設置について

(3) 移住促進作業チーム（12月11日開催の幹事会で協議設置）構成員4名+事務局4名

■ 移住促進作業チーム第1回会合

開催日 平成22年2月1日

- 報告事項 ①富良野市の人口推移について
②ふらの市移住促進協議会の取組みについて

- 協議事項 ①富良野市への移住促進を図るためにどのような問題や課題が考えられるか
②その問題や課題を解決するために、「移住促進作業チーム」はどのような方向性を持って進めていくべきだと思いますか
③さらには、具体的にどのような取組みや事業を行ったほうがよいと考えますか
④移住体験モニターツアーについて

■ 移住促進作業チーム第2回会合

開催日 平成22年2月10日

- 報告事項 ①協議会通信第4号について
- 協議事項 ①移住体験モニターツアーにどう関わるか
②平成22年度はどのような事業をすべきか



■ 移住促進作業チーム第3回会合

開催日 平成22年2月23日

- 報告事項 ①オフ会について
- 協議事項 ①移住体験モニターツアーについて
 - ・参加者の事前アンケート結果について
 - ・オリエンテーション
 ②平成22年度ふらの市移住促進協議会事業計画について

■ 移住促進協議会第4回会合

開催日 平成22年3月24日

- 協議事項 ①移住体験モニターツアーの総括について
②平成22年度ふらの市移住促進協議会事業計画について

■ 移住促進協議会第5回会合

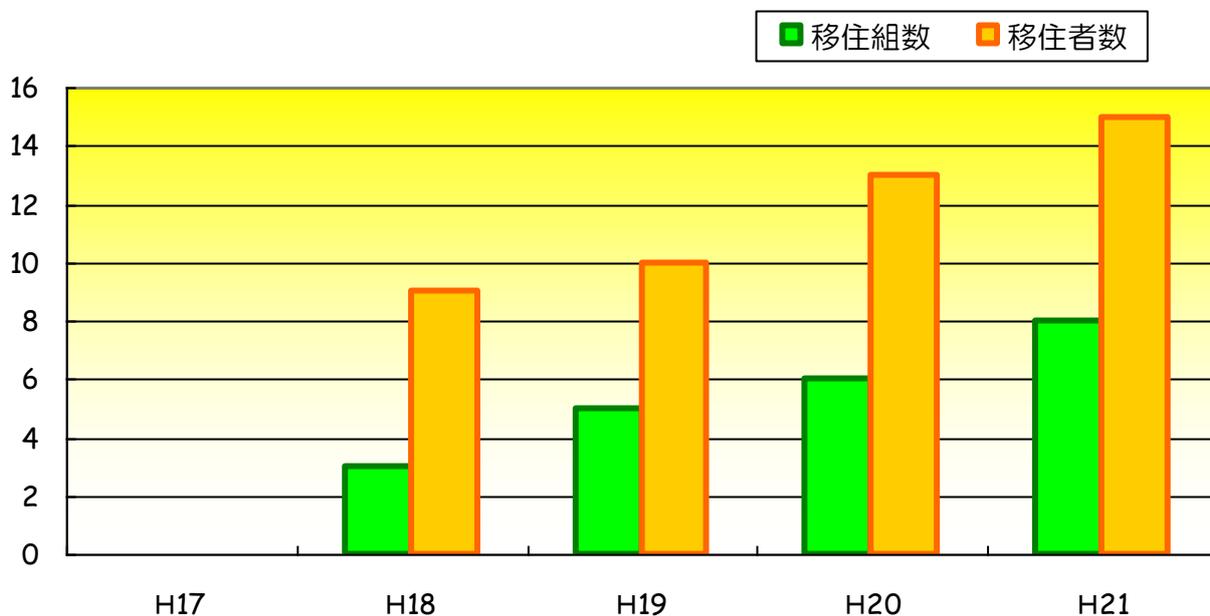
開催日 平成22年4月21日

- 協議事項 ①平成22年度ふらの市移住促進協議会事業計画について
②平成22年度ふらの市移住促進協議会総会議案（案）について

移住実績

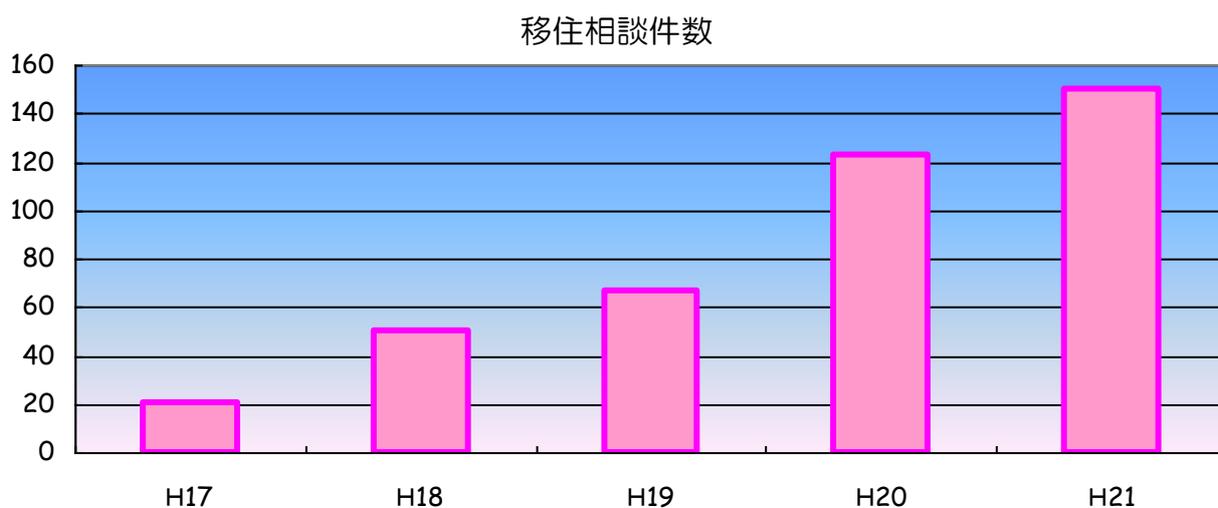
■ 移住者数

	H17年度 6月から	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	合計
移住者	0件	3組9名	5組10名	6組13名	8組15名	22組47名



■ 移住相談件数

	H17年度 6月から	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	合計
移住相談件数	21件	50件	67件	123件	150件	411件



新聞記事

富良野への移住を促進

官民で連携

ふらの市移住促進協議会を設立

富良野への移住を促進する官民が連携した「ふらの市移住促進協議会」の設立総会が21日、保健センターで開かれた。能登秀昭市長を会長に選出し、行政と民間団体が「オールふらの」の態勢で、人口減に歯止めをかける移住対策に本腰で取り組む方針だ。

「富良野に住みたい」が昨年度123件



ふらの市移住促進協議会の設立総会が21日、開かれた

国立社会保険・人口 によると、富良野市の平成47年には現在の2倍、約1万4000人台から1万7000人台まで減少するという。市の人口は東山村、山部町との合併に伴い、昭和40年の3万6627人を最高に右肩下がりで減少している。近年では少子化が進み、平成15年から死亡者数が出生者数を上回るようになり、人口減に歯止めがさらにかからなくなっている。

こうしたことから、この人口減に歯止めをかける対策の一環として移住対策に本腰で取り組むことになった。市は昨年の7月からホームページに「富



1ヶ月購読料1,000円(税込)
発行所
日刊富良野新聞社
協和印刷商事株式会社
本社
富良野市幸町2番15号
電話(代)23-3561
FAX 0167-23-4009
http://www.hanazono.jp/kyon/index.html
札幌支社
札幌市北区北7条西5丁目
ストーク札幌ビル5F
電話 011-716-4414
FAX 011-716-2332

6月からお試し暮らし住宅を提供

名古屋、大阪、東京から申し込み

富良野の住まいの情報バンク」のサイトを作成し、富良野市の住居情報発信している。この結果、アクセス件数は7万件を超した。また「富良野へ移住したい」という相談件数は昨年4月から今年3月までの1年間で123件にのぼっている。こうした状況から市は移住を検討している相談者に対し長期滞在の「お試し暮らし住宅」を提供することになり、今月に入ってからホームページで希望者を募ったところ2件の住宅に対して、名古屋、大阪、東京から夫婦3人の申し込みがあり、6月から富良野での生活体験を始めるという。

対策に取り組み、地域活性化につなげたい」と出陣した関係団体に協力を求めた。

初年度の事業計画は、11月初旬に大阪で開かれる「北海道暮らしフェアin大阪」、同月下旬に東京で開かれる「北海道暮らしフェアin東京」で、北海道暮らしの首都圏等プロモーション活動と、物産展における移住相談への参加を行う。このほか、市役所企画振興課内に「移住相談ワンストップ窓口」を設置し、生活利便現地案内サービスを実施する。また、富良野の移住体験事業として「お試し暮らし住宅」を実施し、市と民間のホームページで住民提供の情報を公表する。

なお、副会長に後田正俊・北海道地建協取引協会旭川支部富良野分区分長を選出したほか、理事には、富良野農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、富良野観光協会、4団体の代表をあてた。また監事に平沢幸雄・富良野建設業協会会長。

H21.4.18付 日刊富良野

来月、ふらの市移住促進協議会を設立

市、経済、建設業団体が連携

富良野市は本年度の重点施策の一環として移住・定住を掲げているが、経済団体、建設業団体と連携した「ふらの市移住促進協議会」(仮称)の5月設立に向け、準備が進められている。

同協議会の主な活動は、ホームページの運営と移住促進に係るPR活動、PR活動で

富良野市は本年度の重点施策の一環として、11月上旬に開催される北海道暮らしフェアin大阪、同下旬に開催される北海道暮らしフェアin東京ビッグサイトに参加し、首都圏と関西で移住相談フェアを行う。このほか移住者へ向けたパンフレットの作成を行う。

同協議会の構成団体は、市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区分の会

員、構成員を予定している。

会費は1事業者年5000円、申し込みは今年22日までに各団体事務局か市役所総務部企画振興課(☎39・2304番)へ。

第3種郵便物認可

「お試し暮らし住宅」の前で知人から分けてもらった野菜やメロンを手にする堂後夫妻



【富良野】移住希望者に市職員住宅の声を低価格で貸し出す、市の「お試し暮らし住宅」の利用が好調だ。来年度の利用希望も10家族に上っている。東山の職員住宅で7月から「お試し暮らし」を体験する堂後徳丸さん(76)。「東京都」は「非常に快適な夏を過ごせた。良い物件があれば、いつでも富良野に來たい」と移住に前向きだ。(山中いすみ)

お試し移住住宅好評

来年度も 富良野市「予想超す」 10家族希望

「お試し暮らし住宅」のきっかけは、多くの移住希望者から「富良野の生活を事前に体験したい」という声が増えてきたことだ。市が市内弥生町と東山の職員住宅2戸を改修して今年初めて貸し出した。滞在期間は3カ月が上限で、6月から利用を開始。家賃は月々3万円と低価格に設定し、冷蔵庫など最低限の家財道具は住宅に備えてある。

堂後さんは7月初めから9月10日まで東山の職員住宅で妻の節子さん(72)と暮らし、「景色の美しさに毎日感動しています」と富良野生活を満喫している様子。趣味の詩吟や散歩を楽しみ、パークゴルフや釣りに挑戦している。

節子さんも「富良野で暮らしがかなり具体的にになりました」と話し、2人は移住に向けて不動産情報などを集めている。

市によると、6月から12月までの半年間で計7家族が利用する予定で、来年度の滞在希望もすでに10家族分、寄せられている。

担当者は、「予想以上の反響に驚いている。秋には大阪、東京で開かれる北海道暮らしフェアに参加し、PRしたい」と話している。

2009.10.14 北海道新聞(夕刊)

好評ですお試し住宅

富良野市は移住促進事業の一環として今春から、市内にある市職員住宅を移住希望者が借りられる「お試し暮らし住宅」に取り組む。担当の市職員、加門賢裕さん(27)は「近所づきあいや地域の祭りなど、観光のまち富良野とは違う面を体験できると好評です」と話す。

市内に2戸あるお試し住宅は、1カ月から3カ月を上限に家賃月2〜3万円借りられる。加門さんは17日に大坂市で開かれる北海道の移住促進フェアに参加し、同住宅や富良野をPRする予定。「実家が富良野の農家の利点を生かし、収穫できる野菜の豊富さや農村風景の美しさも伝えてきたい」と意気込む。

富良野



ブログ更新で「富良野生活」無料

【富良野】富良野広域圏経済活性化協議会（会長・能登芳昭市長）は、冬の富良野の生活体験をブログで毎日発信すると、滞在中の宿泊費が無料になる6泊7日の「移住体験モニターツアー」を3月に実施する。

富良野への移住や、季節で自宅と住み分ける

6泊7日の移住体験ツアー

「二地域居住」を考えている人が対象で、募集人数はペアが4組8人、単身が2人の計10人。期間は3月8日から14日までの7日間。滞在中の様子を記したブログを毎日、更新すると、自炊ができるコンドミニアムの宿泊費（ペアで9万円相当）が無料になる。

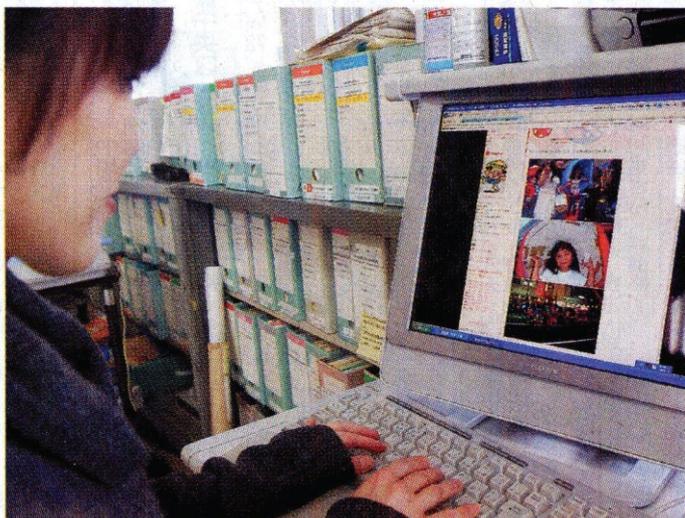
同協議会は「ツアー体験

者だけでなく、ブログの読者にも富良野暮らしを疑似体験してもらい、移住の参考にしてほしい」と話す。

20日まで同協議会のホームページ(<http://furanochoco.wordpress.com>)で申し込みを受け付け、書類選考する。問い合わせは同協議会 ☎ 0167・22・4456 へ。

移住 — ワイン — ヘソ祭り

ブログ活用 富良野を発信



1日平均5000件近いアクセスがある「富良野へそ祭り臨時ブログ」

【富良野】富良野市職員が移住促進事業やふらのワインの商品紹介などの情報発信にインターネットのブログを活用し、人気を集めている。閲覧者の書き込みによる問い合わせへの迅速な対応や、イベント広報、結果報告などのリアルタイムの発信など、月1回発行の広報誌では不可能な即時性が受けている。

（山中いずみ）

ブログは、新しい情報を新商品やワイン用ブドウの日記のように掲載していく生育状況、道外の物産展へホームページ（HP）のこの出店情報などを紹介。亀と。総務省によると、国内 淵雅彦業務係長は「物産展では2009年1月末現在で『ブログを見ている』で約2700万人がブログと声をかけられることもあを開設している。

「ふらのワイン」のブログ 囲気も紹介していきたい」を開設する市ぶどう果樹と話す。

研究所は、06年にHPを一新した際にブログを始め、担当する市企画振興課のブログ「ふらのに住んだらイ

担当の市職員が開設

即時性、閲覧者に好評

「シャナイカ」は、1日のアクセスが3000件を超えることも。職員3人が昨年8月に始め、移住希望者からの相談内容や移住者の感想、冬場は積雪情報や除雪作業の様子なども発信。担当者は「ブログを見て移住を決めた人もおり効果は大きい」と話す。

昨年5月に市商工観光課が開設した「富良野へそ祭り臨時ブログ」は、1日平均5000件近い閲覧があったため、常設化した。

昨年の北海へそ祭り直前には準備の進行状況や天気予報を随時発信し、最大8000件のアクセスがあった。現在はイベント情報や、富良野の土産、グルメなどを職員5人が交代で更新している。担当者の1人は「今年も7月のへそ祭りに向けて充実させたい」と意気込んでいる。

移住希望者 市職員と懇談



移住希望者対象の初の「オフ会」で自己紹介する参加者たち

ブログが縁 千葉、新潟からも参加

【富良野】富良野市の移住促進事業のPRブログを通して知り合った、移住希望者と市の担当職員が顔を合わせる「オフ会」が12日、市内で開かれた。千葉県や新潟県からの参加もあり、移住の夢や不安を語り合って情報交換を行った。

(山中いずみ)

PRブログの名称は「ふらのに住んだらイイジャーナル」。ブログは新しい情報を日記のように掲載していくホームページ(日記)のことで閲覧者が感想を書き込むこともできる。

「ふらのにー」を作成しているのは企画振興課の職員で、市職員住宅を移住希望者に低価格で貸します。お試し暮らし住宅の募集、四壁を造った富良野の暮らしをほぼ毎日発信し、市職員有志が企画した。

「ふらのにー」には本州の移住希望者のほか、お話し暮らし住宅に潜在中の人からの感想や質問が書き込まれ、ブログ上での交流も盛ん。初のオフ会は、千葉県と新潟県のプロブロガーが富良野を訪れる時期が偶然重なったため、実際に会って情報交換と親睦を図ろうと市職員有志が企画した。

た。会場となった市内の飲食店には13人が参加した。

富良野でバリアフリーの宿を開くのが夢という旭田直子さん(49)は「千葉県」は長男の慶介さん(6)と参加。ブログでやりとりをしていた人たちと実際に会えてうれしい。面白い店や人をたくさん紹介してもらいました」と満足そう。

昨年12月から弥生町のお試し暮らし住宅に滞在している田原由希さん(33)は「広島県」は「仕事や住宅情報など、普段は聞けない情報が手に入り、ためになった」と話した。

西野成紀・企画振興係長は「富良野の情報発信を促したい人、知りたいたい人の思いが実ったオフ会だった。機会があればまた開きたい」と手応えを感じている。

情報交換「ためになった」



バスツアーでふらのチーズ工房を見学する参加者たち

【富良野】富良野市への移住希望者6組13人を迎え、滞在中の体験を毎日ブログで発信すると、宿泊費が無料になる6泊7日の「移住体験モニターツアー」が8日から始まった。9日には市内を見学するバスツアーが行われ、参加者が半日かけて病院や銀行、商店街など生活に必要な施設を確認した。(山中いずみ)

「富良野市へ」移住体験ツアー

ブログは新しい情報を日記のように掲載していくホームページ(H.P.)のこと。参加者は滞在中にブログを毎日更新するのを条件に、自炊ができるコンドミニアムの宿泊費(ヘアで6泊分9万円相当)が無料になる。

富良野広域圏経済活性化協議会主催の初の試みだが、ツアーに参加していない人も、ブログを読むことで富良野生活を疑似体験してもらおう狙いもある。

6組10人の枠に対し、全国から10組の応募があり、志望動機などを基に同協議会が選定した。札幌や北見市、千葉県などから子ども3人を含め13人が参加している。

9日の午前中に行われた見学ツアーでは、バスで市内を巡り病院や郵便局、学校施設の場所を確認、地元の産業や特産品を知るため、

6泊7日 ブログ更新中

6組13人 「子育てに良い環境を」

ふらのチーズ工房やワイン工場なども見学した。

東京都から参加した齋藤恵さん(30)は「結婚の予定があるので、子育てに良い環境を求めて移住を検討している。子育て環境や、どんな仕事があるのか調べたい」と話した。

ニュージラランド出身の夫、子ども2人と参加した千葉県の松本香織さん(34)は「富良野はニュージラランドに似て自然が多く、居心地の良い場所。いずれはカフェを開きたい」と夢を語った。

ツアーは14日までで、参加者は自由に市内を見学したり、仕事や不動産の情報を集めたりして過ごす。

各参加者のブログは「ふらの移住体験ブログ」<http://ameblo.jp/one-of-furano/>読め。

第1号 平成21(2009)年12月17日(木)

協議会通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121
E-mail: info@iju.furano.ne.jp



もうひとつのふるさと探しin大阪

平成21年10月17日(土)に大阪府において開催された『もうひとつのふるさと探しin大阪』に富良野市として出展してきました。

このフェアには、北海道と中国・四国地方より64の市町村・団体・企業が出展をし、会場に1,700人の方が来場しました。富良野市のブースにおいても38名の方が移住相談に訪れました。

移住相談の内容では、何度も富良野を訪れた事がある方が多く、富良野の自然環境に対し、高い評価がありました。また、今年度よりスタートした、「富良野市お試し暮らし住宅」についても、多くの問い合わせがあり、関西圏における北海道に移住することの関心の高さがうかがえました。



北海道暮らし広場in東京ビックサイト



平成21年11月7日(土)に東京都において開催された『北海道暮らし広場in東京ビックサイト』に富良野市として出展してきました。

このフェアは、「海外ロングステイ・国内デュアルライフフェア2009」の中に「北海道暮らし広場」として会場が設置されていました。北海道から45の市町村・団体・企業が出展し、会場に1,500人の方が来場しました。

また、今フェアでは、ふらの市移住促進協議会の会員でもある「鶴Apartment」の永田氏も東京での仕事の合間にフェアに参加していただきました。実際に富良野で経営している方として、富良野で起業を希望している方の相談を受けていただきました。



富良野市お試し暮らし住宅利用状況

弥生住宅

6月 1日 ~ 8月31日 (愛知県 単身)
9月 1日 ~ 9月30日 (大阪府 夫婦)
10月 2日 ~ 11月 2日 (大阪府 単身)
12月 1日 ~ 2月28日 (広島県 単身)

東山住宅

7月 1日 ~ 9月10日 (東京都 夫婦)
10月 5日 ~ 11月 4日 (山口県 単身)
12月 1日 ~ 2月28日 (神奈川県 単身)

今後の予定

3月 1日 ~ 3月31日 (岐阜県 単身) 3月 1日 ~ 3月31日 (兵庫県 単身)



第3回幹事会を開催しました

12月11日、第3回幹事会を開催しました。事務局からは、市の移住相談ワンストップ窓口の相談内容や移住者の状況、首都圏でのプロモーション活動や市議会総務文教委員会における移住促進事務調査について報告しています。



移住体験モニターツアーの開催

富良野広域圏経済活性化協議会では、3月上旬に富良野移住に興味を持つ方々を対象に、体験談としてブログやホームページを通じて宣伝することを条件としてモニターツアーを予定しています。移住促進協議会としては、ホームページでの公募やモニターの方とのふれあいなど連携していくことが確認されました。

移住促進協議会のブログ

移住促進協議会事務局では、8月からブログ『ふらのに住んだらイイジャナイカ♪ (<http://ameblo.jp/furano-ijusokushin/>)』を開設し、これまでに5,700件のアクセスがありました。ブログでは富良野移住に向けた情報や日々の富良野の状況についてリアルタイムに発信しています。

協議会会員の皆様から掲載してほしい情報(たとえば完成住宅見学会など...)がありましたら事務局(市役所企画振興課)まで提供してください。お待ちしております。

幹事会に移住促進作業チームを設置

幹事会では、来年から富良野市への移住促進に向けて、より実効性の高い事業を行うために、企画立案から実践するまでの一連の取組みを行う「移住促進作業チーム」を設置することが協議されました。

「移住促進作業チーム」は、協議会に加入しているすべての会員に呼びかけ、各企業の中堅若手など、移住促進に向けて機動力があって、積極的に行動することが可能なメンバーとして構成し、定例的に会議を開催することが確認されました。

移住促進作業チームのメンバー募集は12月下旬に行い、第1回目の会議は1月下旬に予定しています。

第3号 平成22(2010)年1月13日(水)

協議会通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121
E-mail: info@ju.furano.ne.jp



ふらの移住体験モニターツアー

富良野広域経済活性化協議会では、富良野に移住や二地域居住を考えている方を対象に、冬の富良野を体験できる「ふらの移住体験モニターツアー」を以下のとおり実施します。

	募集要項
実施期間	2010年3月8日(月)～2010年3月14日(日) 6泊7日
募集人数	①ペア 4組8名様 ②单身 2名様(ルームシェア)
募集条件	・健康な方 ※通院が必要な方、妊娠中の方はご遠慮頂いております。 ・富良野での生活体験ブログの更新が可能な方 ・モニターツアー終了後も当方のデータ収集にご協力いただける方 ・雪道の運転が出来る方尚可
宿泊費	無 料
参加に係る費用	・ご自宅から富良野までの往復交通費 ・滞在中にかかる生活諸費用
滞在先	①鶴アパートメント・コテージゆうゆうのどちらか ②ふらのレンタルハウス
応募方法	お申込みフォーム(word)に必要な事項をご入力の上、2010年1月20日までにメール添付にてご応募ください。 お申込みフォーム 応募先：富良野広域圏経済活性化協議会 地域観光資源開発チーム 担当：木下 kinoshita.asami@furano.ne.jp 書類選考の後 2010年1月末までに結果を応募者全員にご連絡いたします。

鶴アパートメント



コテージゆうゆう



ふらのレンタルハウス



2月1日に開催される、作業チームの会議の中でモニターツアーに対し、協議会としてどのような取り組みを行うか話し合います。

作業チームの加入申し込みは1月14日(木)までとなっていますので、よろしくお願いいたします。



移住促進作業チームスタート!

富良野市への移住促進に向けて、より実効性の高い事業を行うために、企画立案から実践するまでの一連の取り組みを行う「移住促進作業チーム」を設置しました。

2月1日(月)に第1回目の会合を行いました。事務局より「富良野市の人口推移について」「ふらの市移住促進協議会の取り組みについて」の報告を受けて、メンバーそれぞれの移住に対する考えや思い、移住相談を受けている中での課題など、意見交換を行いました。

また、富良野広域圏経済活性化協議会が主催する「ふらの移住体験モニターツアー」に、協議会としてどのように関わるかを議論しました。

次回の会合においては、より具体的なことを企画立案そして実践できるよう進めていきます。



作業チームメンバー

所 属	氏 名
株式会社 コダマ	瀬川 謙二郎
株式会社 那知組	渡辺 督久
株式会社 北菱	上田 賢一
北の宿 望峰	高橋 秀雄
鶴 apartment	永田 浩吏
ふらの市移住促進協議会 事務局長	鎌田 忠男
ふらの市移住促進協議会 事務局長次	西野 成紀
ふらの市移住促進協議会 事務局員	藤野 秀光
ふらの市移住促進協議会 事務局員	加門 賢裕

第2回会合 2月10日(水)

引き続き、移住促進作業チームに加入される方を募集しています。作業チームに参加することが可能な方は、ご報告ください。

ふらの生活体験モニターツアー

ふらの生活体験モニターツアーの参加者、6組10名が決まりました。今後、モニターツアーに参加するまでの過程や体験中のこと、また体験後の感想や移住に向けての動きなどについてブログを活用し、広くPRしていただきます。

ぜひ、ブログで参加者の感想をご覧ください。

ふらの移住体験ブログ：<http://ameblo.jp/one-of-furano/>

第5号 平成22(2010)年2月18日(木)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121

E-mail: info@iju.furano.ne.jp



第2回移住促進作業チーム

2月10日(水)、北の峰町の鶴 apartment において第2回移住促進作業チームを開催しました。3月8日～14日まで行う移住体験モニターツアー(6組10名)については、事前に参加者のアンケート調査を行い体験期間中のニーズを把握することが確認されました。また、来年度からの新たな事業については、以下の意見が出され次回以降具体的な事業計画の企画を立てることが話されました。



- ・移住者の体験的な事例集を作成してはどうか。
- ・ふらの市移住促進協議会主催による「移住体験ツーリズム」を企画してはどうか。
- ・移住促進の先進事例地の視察や著名人の移住促進講演会を開催してはどうか。
- ・道外へのプロモーション活動には、民間の方も参加できる旅費の補助はできないか。等々

オフライン会 (略してオフ会) をやりました



移住促進協議会のブログ上で知り合った人々が、インターネット上ではなく、実際に集まって親睦を図るオフ会が2月12日(金)市内の飲食店で行われました。オフ会では、現在富良野でお試し暮らし住宅を体験されている方(神奈川県・広島県)、既に富良野に移住された方(山口県)、将来的に富良野への移住を考えている方(千葉県・新潟県)、そして市の企画振興や観光部局など総勢14名が集まりました。この会では、それぞれが富良野に移住することになったきっかけや富良野での生活体験などが和気あいあいと話され、これから富良野移住を検討されている方への貴重なアドバイスの場となりました。

「みんなの北海道」フォーラムin札幌

NPO法人住んでみたい北海道推進会議では、道内・道外の先進事例を紹介する他、参加者同士の意見交換を通して移住・交流のビジネスチャンスを図るためにフォーラムを開催します。参加希望者は、事前予約が必要となりますので各自申し込んでください。

日時：平成22年3月1日(月) 14:00～17:30

場所：ホテル札幌ガーデンパレス2F 札幌市中央区北1条西6丁目

申込：NPO 法人住んでみたい北海道推進会議事務局 TEL011-251-3188

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.kurasube.com>



移住体験モニターツアーの交流会に参加しませんか

富良野広域圏経済活性化協議会が主催する移住体験モニターツアーのオリエーションと交流会が3月8日(月)行われます。モニターツアーに参加される方は、将来の移住候補地の一つとして富良野市を選択し、1週間の生活体験をとおして、住いや仕事の情報を収集し、富良野市民との交流を楽しみにしています。ぜひ、ふらの市移住促進協議会に加盟している皆さんもご出席いただき様々な情報を提供し交流を深めていただきたいと思います。

日時：3月8日(月) 午後3時から オリエーション(ホテルナトゥールバルト)
午後5時から 交流会(ニュー富良野ホテル)

会費：交流会に参加される方は、一人4,000円負担となります。

移住体験モニターツアーに参加される方の主な質問

仕事について	<ul style="list-style-type: none"> 移住者を積極的に受け入れたい、移住者を希望するという意向を持たれている機関や企業や団体を知りたいです。 仕事は富良野圏域のどの辺りに多いですか？(業種には今まで経験を活かし判断をしたいが、場所的に「まち全体」の中にどういう分布と行き来があるのか知りたいです。) 富良野の職種別の求職状況を知りたい。特にIT関連の仕事はどの程度の需要がありますか？
住まいについて	<ul style="list-style-type: none"> 移住する場合、賃貸に住んでから家を購入するつもりだが、賃貸物件の量や価格相場について知りたいです。また、土地購入をする場合にどういうルートで購入できますか？ 空き店舗、空き家情報等がありますか。
生活について	<ul style="list-style-type: none"> スーパーなどではなく、地元の食材などが購入できる場所があるかを知りたいです。農家や酪農家で直接購入できるような場所はありますか？ 地元の普通に生活している人とならかの形で交流がしたいです。

第3回移住促進作業チームの開催



2月23日(火)、第3回移住促進作業チームを開催しました。今回の作業チームでは平成22年度に取り組むべき事業について話されました。

各委員からは、移住者の体験談や富良野の1年間の生活スタイル・イベント等の早見表などの生活事例集を作成してみてもどうかとの意見がありました。また、移住相談者のニーズや動機などの情報を整理し、移住相談マニュアル的なものを作成してはどうかとの意見もありました。

次回は3月16日(火)に第4回目の移住促進作業チームを開催します。